



矢部中学校2年  
泉 真子 議員

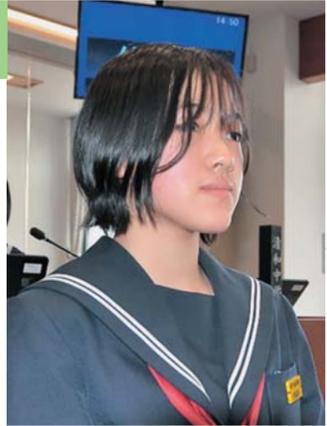
山都町の有機野菜をPRするための取組を

《質問》山都町では多くの有機野菜が作られ、中学校の給食でも提供されるなど、私たち生徒にとっても身近な名産品の一つです。そこで、有機野菜を広めるためのPR企画を住民や町内の小中高から募集し、有機野菜を使った料理のレシピコンテストを実施し、さらに有機野菜を使った料理の調理動画を町のホームページやSNSで配信することはできないでしょうか。

《答弁》農林振興課長  
山都町は「有機農業ナンバリーの町」として、PRに力を入れおり、環境にやさしい農業の推進や、県内外での有機野菜の店頭販売など山都町の有機野菜の魅力を広げる取り組みを行っています。提案のPR方法の募集やレシピコンテストは有機野菜の消費拡大に向けた手段の1つとして考えますが、生産者と町・その他関係者との連携が必要になりますので、山都町有機農業協議会等と議論を重ねながら進めてみたいと考えています。

コロナ禍における山都町内での地域交流について

矢部中学校2年  
大城 捺音 議員



《質問》コロナウィルスの影響で町民体育祭が開催できないなど、町民のつながりが薄れてきているように感じます。そこで、コロナウィルスの影響がある中でも、やまと文化の森で行われている「クリスマスツリーコンテスト」を地区対抗にするなど、町民のつながりを感じられる交流について提案します。

《答弁》企画政策課長  
クリスマスツリーコンテストにつきましてはコロナ関連で中止することもなく3回目を12月に行っており、各自治振興区や保育園にも参加していただきました。これは新たな生活様式における地域交流が必要になると考えております。具体的な地域交流としては町が主催する各種イベントや自治振興区での取り組みについて感染予防対策を実施し地域の交流を絶やすことなく実施できればと考えております。



矢部中学校2年  
増本 翔 議員

安全に登下校するためのカーブミラーの点検と整備を

《質問》現在、設置されているカーブミラーの中には、ミラーの汚れや、ひび割れしているものがあり、自転車通学をするうえで安全確認をしづらい箇所があります。安全確認が十分にできないと、自動車との接触の危険性も増えます。通行する人が安全に通行できるように、カーブミラーの点検や整備をお願いします。

《答弁》総務課長  
町では地区の交通事情に精通している方に、交通指導員として通学路も含めた地区の交通安全対策をお願いしており、主な活動として、登下校時の見守り活動や安全運転の呼びかけ、カーブミラーの清掃や整備、設置も日頃から担っていただいております。カーブミラーは交通量や視認性、公益性等から必要性が認められた時に設置を行います。役場で把握できていない箇所もあると思いますので、学校や地区の交通指導員、区長さん等にも相談いただければと思います。

ゴミの不法投棄解消に向けた清掃活動の実施

矢部中学校1年  
荒木 一心 議員



《質問》山都町ではゴミの不法投棄対策が行われていますが、登下校をする中でゴミが落ちていて、登下校の時間に見かねて、登下校の時間に合わせて町内のクリーン活動などについて提案します。

《答弁》環境水道課長  
町の不法投棄対策として、看板設置や防災無線、広報やま、ホームページで不法投棄の禁止について啓発しているほか自治振興区ごとに美しいまちづくり推進員を委託し、地区の巡回や不法投棄の監視を行っています。ごみのポイ捨てが後を絶たない状況です。提案の清掃活動につきましては、登下校時に拾ったゴミを学校で分別する事で処分が可能かと思われ、登下校時の一般清掃活動の設定と併せて、安全性を含め学校や収集業者など関係機関と協議したいと考えています。



蘇陽中学校2年  
菅原 琉央 議員

子どもの安全を考えた街灯の設置を

《質問》山都町には街灯が少なく、夜は町の雰囲気も暗いため、街灯を設置することはできないでしょうか。主には国道沿いに設置することで、町の雰囲気も明るくなると思います。また、冬の時期は暗くなるのが早いので、帰宅時の子どもの安全を考えた設置はできないでしょうか。

《答弁》総務課長  
町では、外灯の整備を通路や町道、商店街など必要に応じて行っていますが、設置や維持管理する経費の予算確保が必要です。一方で、星空環境を保全することを目的として、令和2年3月の子ども議会でも提案された質問を受けて「山都町星空環境保全条例」を制定しており、生活や活動等に支障のない範囲で照明を減らす協力を呼び掛けています。以上のことを踏まえ、各地区の状況把握を行い、計画的に改善してまいりたいと考えております。

空き家を活用した地域交流の実施について

蘇陽中学校2年  
工藤 凜亜 議員



《質問》空き家の土地を活用し、地域のイベントなどを開催することを提案します。公園や店をつくり、そこでイベントを開催することで年齢問わず多くの人と交流ができると思います。また、SNSを活用し他の地域の人への参加を募集すればさらに交流も広がり、山都町のPRになります。

《答弁》山の都創造課長  
町では、補助金制度を作った空き家の有効活用を促進を図っています。空き家の活用方法としては、住居のほか店舗や事務所への改修等があります。提案いただいた地域の交流の場としての活用については、5年間で1件しか補助金の利用がなかったため、ニーズがないと判断し、現在は、補助メニューから削除しています。今後地域や住民組織の活用が見込まれる場合は、新たな支援制度の構築も含め、検討してまいります。



蘇陽中学校2年  
工藤 美都希 議員

物価高騰にともなう子育て支援を

《質問》最近、物価の上昇が進み、親の負担が大きいため、子育て支援について提案します。具体例として、支援金を増やす。もしくは子どもの数だけ町のみで使える1000円クーポンや清和文楽館などの無料券を発行することで町の活気につながります。

《答弁》福祉課長  
山都町の主な子育て支援策として、出産祝い金や高校生までの医療費の無料化、予防接種の一部助成、保育料を国の基準額の60%に設定するなど保護者の負担軽減を図っています。クーポン券の発行等については、1月31日まで町内のお店でPayPayで買い物した場合のポイント還元キャンペーンのほか、過去にも生活支援を目的とした商品券の発行も行っています。町の活性化を図るにはご提案いただいたクーポンや無料券の発行は、有効な手段であると認識しております。

山都町の自然を生かしたスタジアムの設置を

蘇陽中学校1年  
片倉 萌衣 議員



《質問》山都町の夏は涼しく冬は雪が降るなどの気候や自然を生かして、陸上やテニスなどスポーツができる場の設置はいいかと思いますが、スポーツをする場があれば、子どもたちから大人まで多くの人が体を動かす機会が増え、体力向上につながるのではないのでしょうか。

《答弁》生涯学習課長  
スタジアムを町単独で設置するには、費用や維持管理等の面において非常に困難です。現在整備中の「山都町運動公園」には、総合体育館や芝生広場、サッカー場やラウンジコース、中央グラウンド、そして子育て世代が遊具等で楽しめるちびっこ運動広場の整備を進めておりますので、こちらを利用していただくことも、九州中央自動車道「山都通潤橋IC」開通も見据え、町民の体力向上・健康増進とともにスポーツを通じた交流等により、新たな町の振興に繋がっていくと考えております。